

クマタカ タカ目タカ科

Spizaetus nipalensis (Hodgson, 1836)

鳥取県：絶滅危惧I類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧IB類 (EN)



クマタカ(右下) 広島県内 1991.8.19/撮影：栗原築波

■**選定理由**：県下の山林で繁殖するが個体数が少ない。

■**特徴**：全長70–80 cmほど、翼開長は150 cm内外と比較的短めで、幅が広く後縁にふくらみがあり、尾は長めで幅が広く、森林内での飛翔に適した形態。後頭の羽毛は長めで冠羽状。飛翔時翼下面の黒い横斑，尾羽の黒褐色の縞模様が目立つ。餌はノウサギ，ヤマドリ，ヘビなど，中型の哺乳類，鳥類，爬虫類。

■**分布** 県内：標高200 m以上の県下ほぼ全域の急峻な斜面をもつ山地森林に生息。県外：北海道，本州，四国，九州の山地森林。

■**保護上の留意点**：落葉広葉樹林を中心とした自然林の保護，森林伐採を伴う開発行為の抑制，針葉樹植林地の広葉樹林への転換と，荒廃を防ぐための間伐などの手入れが必要。

■**特記事項**：国内希少野生動植物種（1993年），鳥取県特定希少野生動植物（2002年）。

■**文献**：16, 33, 50.

執筆者：岡垣大志